

公益社団法人 目黒区シルバー人材センター

# シルバーめぐろ

令和6年1月1日

# 289号

令和5年12月1日現在

男性	696名	合計1,200名
女性	504名	

## 発行・編集

本部：目黒区目黒1-25-26(田道ふれあい館)  
 TEL▶03-3793-0181 ▶FAX03-3793-0588  
 分室：目黒区目黒本町2-1-20  
 TEL▶03-5721-2593 FAX▶03-5721-2594  
 HPアドレス▶<https://www.meguro-sc.or.jp/>

## 新年のご挨拶

会長 櫻井 誠



明けましておめでとうございます。  
 会員の皆様方におかれましては、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。  
 今年は「甲辰(きのえたつ)」年です。「活力旺盛になって大きく成長し形がととのう」年といわれています。ますます活動を力強く発展させる年です。  
 コロナ禍で社会情勢も大きく変化しております。団塊の世代が75歳に達しはじめ、超高齢化社会になるとともに、生産年齢人口は急激に減少する方向にあります。そのような環境の中で我々シルバー人材センターの役割はさらに重要になってまいります。これからデジタル社会は急速に進むと思われませんが、取り残されることのないよう会員の皆様がかつ有益に活用できる仕組み、情報共有できる仕組みなどを検討してまいります。  
 地域に根ざすシルバー人材センターの地域班活動は、ますます重みを増すことと思います。地域で開催されるイベントへの参加など、しっかり地域とコミュニケーションを取りながら生き甲斐を見つけ楽しんでまいりましょう。「明るく、元気で楽しい、夢ある」シルバー人材センターを作り上げましょう。  
 最後になりましたが会員の皆様、ご家族の皆様のご多幸とご健勝をご祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

## 新年のご挨拶

目黒区長 青木 英二



明けましておめでとうございます。皆様には健やかに初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。  
 本年も、櫻井 誠会長をはじめ、役員の皆様、会員の皆様がお力を合わせて、目黒区シルバー人材センターの活動が益々発展されることを心より願っております。  
 昨年は、コロナ感染症からの回復、インボイス制度の導入など、社会、経済情勢も大きく変化してまいりました。コロナ感染症の影響で減じた会員数については、新規会員確保のみならず、現会員の方の意見や要望を取り入れ、環境、年齢や体力に応じた活動に参加し続ける仕組みづくりにも取り組んでおられると聞いております。  
 目黒区シルバー人材センターにおかれましては、会員の皆様の豊かな経験や知識を活かして、就業を通じた生きがいづくりを实践されておられます。また、昨年も引き続き、道路清掃活動などの地域貢献活動にも積極的に取り組まれていることを、心から感謝申し上げます。  
 人生100年時代と言われる昨今、働く意欲のある高齢者が、その能力を十分に発揮しつつ、だれもが安全・安心・健康で豊かに暮らせる地域社会づくりを実現するためには、シルバー人材センターの役割は、より一層重要なものとなっております。今後とも、区とシルバー人材センターが力を合わせて、活力ある地域社会と生涯現役社会の実現に向けて取り組んでまいりたいと思っております。  
 結びに、本年が目黒区シルバー人材センター並びに会員の皆様にとりまして、実り多き年となりますことをご祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

## 令和5年度 地域貢献活動紹介 (地域貢献推進委員会)

今年度は、地域貢献活動・ボランティア活動への積極的な参加と会員交流グループへの活動支援を2大目標として会員の皆様と共に楽しく取り組んでいます。  
 コロナ前は各地域班が参加した地域のイベントがいくつかありました。本年度は既に9つのイベントに主催・共催として参加しております。  
 コロナそしてインフルエンザと心配の種はつきませんが、地域のイベントに参加し、皆さんと関わり、ともに地域を盛り上げましょう。

### 地域貢献活動とボランティア活動の実績

- ◆ 道路清掃活動
- ◆ パーシモンほたる祭り(7月)
- ◆ 碑文谷公園盆踊り大会場内誘導(7月)
- ◆ 日本画体験教室(10月)
- ◆ 八雲ワイワイまつり(11月)
- ◆ 目黒川クリーンアップ大作戦
- ◆ 八雲の夏まつり(7月)
- ◆ こまばのまつり(10月)
- ◆ 東山貝塚まつりヒゲダンス(10月)
- ◆ 区内主要公園清掃活動(12月)



## topics



口腔機能向上講習会  
令和5年9月29日



緊急時対応模擬訓練  
令和5年10月20日



家事育児班全体会議(株ヤクルト講演)  
令和5年10月24日



自転車安全講習会  
令和5年10月31日



# 辰年生まれのメッセージ



11月末現在、当センターの会員の中に辰年生まれの“年男・年女”は、昭和3年生まれの方が1名、昭和15年生まれの方々が54名いらっしゃいます。96歳(昭和3年生まれ)を迎えられる伊藤和夫会員に、これまでのセンターでの活動についてお話をいただきました。



## 【センターと私】 不動地域班 / 伊藤 和夫(95歳)

今年は九度目の年男(96歳)です。

40数年務めたサラリーマン生活を卒業した後、2003年5月にシルバー人材センターに入会して以来、20年になります。

雅叙園勤務・消火器点検・広報等の配布業務の後、2010年1月5日からはずっと公営掲示板の「ポスター掲示」作業をしております。



寒風の中、指先が凍えるような日にも掲示作業は休めません。そんな時「大変ですね」と声をかけて下さる方もいらっしゃり、心がなごみます。20年に亘る長い間、仕事を続けられた事はシルバー人材センター職員の方の励ましと、お心遣いの賜と心から感謝しております。これからも健康に留意して、一日でも長くシルバーの仕事の続けたいと思っております。シルバー人材センターの益々のご発展と、会員の皆様益々のご活躍をお祈りいたします。



84歳(昭和15年生まれ)を迎えられる6名の方の新年のメッセージをご紹介します。

①センターに入会して楽しかったことや思い出 ②今年の抱負



大嶋 勇  
(烏森地域班)

- ①入会して11年、烏森班での清掃活動や交流会、また、就業先での大勢の会員の仲間が出来たことで励みになり、体力が衰えないで良かったと思っています。
- ②辰(龍)は縁起の良い生き物とされています。今年も天に舞うように私も就業や交流会で元気で楽しく励みたいです。



山路 江味子  
(菅刈・東山地域班)

- ①入会した23年前は、お直しを中心のリフォーム室でしたが、もっと夢のある作品を作りたいと皆で相談し、自由な発想で作品作りをしました。天皇皇后両陛下のご訪問は良き思い出です。
- ②今まで築き上げた諸先輩方に感謝し、これまで以上に明るく、楽しく仕事していきたいと思っております。健康第一で頑張っております。



小林 令子  
(不動地域班)

- ①朝のご挨拶、お子様の笑顔で元気をいただきお仕事を始めます。人とのふれあいで生きがいを感じ元気になり嬉しく思うのです。就業が終わりいつも空を見上げ、その時の開放感と共に疲れが取れていくのを覚えるのです。
- ②今年の夏の異常気象で時々、心が折れることがありましたが、皆様にお世話になり、もう少し頑張ってみようと思いました。



川本 輝一  
(下目黒地域班)

- ①パソコン教室では、個人指導を通じ現役時代では経験できなかった様な有名人(①世界的なオペラ(メゾソプラノ)歌手、②最高裁判所判事、③国立女子大学教授)と親しく接することができました。
- ②「雑壇飾り」のゲームアプリを作ったおばあさんがいますが、スマホのアプリ作りのプログラミングに挑戦したいと考えています。



半田 典子  
(中根地域班)

- ①入会して23年、いろいろなことを経験し成長したと思います。現在は、週2回2時間の家事援助をしております。健康に恵まれ元気に就業しているので感謝です。
- ②就業先の長男(現在4年生)が生まれてから10年、家事援助をしています。長女(現在5年生)の成長を楽しみに、お断りが出るまで就業したいと思います。



中田 博之  
(東根地域班)

- ①最初に担当した目黒雅叙園の百段階段の案内が一番楽しかった思い出です。20人~30人のお客様を案内して99段の階段を昇り降りしました。
- ②知らぬ間に沢山歳をとりましたが健康な体と気力を維持しながら地元の皆さんとの交流を続けていきたいと思っております。

## 見つけた!あのヒト!

会員の皆様の趣味のコラムを掲載しています。各地区輪番で紹介する予定です。掲載をご希望の方は、班長・地区担当理事までご連絡ください。

### シルバーと日本語教師

シルバーに入会して10年あまり。振り返ると、地域班での活動や就業を通じて、多くの皆さんと知り合いになり、近くの駅前で突然声をかけられるまでもなりました。サラリーマン時代には考えられないほど、地域密着の生活をエンジョイしています。就業では、厳しい場面にも遭遇しますが、皆さんに助けられ何とかこなしてきました。お陰様で健康に過ごしています。ボランティア活動にも参加しています。目黒ユネスコ協会の日本語教室で、週に1回2時間ほど外国人の学習のお手伝いです。色々な国から来日した人達が、生活に必要な日本語をマスターしたいと熱心に通って来ます。「尊敬し合い、楽しく」をモットーにみんな頑張っています。ありがとうございます。



鷹番地域班  
為季 繁



日本語教室の風景

### ミニチュアと私

私と模型の出会いは約60年前に遡ります。これまで各方面の様々な模型を制作してきました。最近ではプラモデルのクラシックカーと鉄道模型全般の制作に集約。特に鉄道模型方面では車両の収集(O,HO,N,Z各ゲージ)の他、私の場合は、小さなブリキ缶の中に情景を作るのが好きです。設計図はなく試行錯誤もまた楽し。納得いくまで拘りを持ち、私は勝手にこの趣味を「缶内ジオラマ」と呼んでいます。何が何でも缶の中に全て収まる作りに。写真の【THE ENODEN】[DIYコンクール審査員特別賞受賞]は制作期間三ヶ月。シンボルのシーキャンドルはLED組込で点滅。中央のスマホカバー線路ではNゲージ江の電が可愛く走行します。



油面東地域班  
宇田川 善臣



【NEU鉄道研究会】代表 缶内ジオラマ【THE ENODEN】

目黒区シルバー人材センターのホームページはこちら!  
詳細や最新情報を掲載中。ぜひご覧ください。 <https://meguro-sc.or.jp>



目黒 シルバー

